

銅センターニュース

新たな試みー暮らしに密着した銅をPR ビル・マンション総合展2002に出展



当センターでは、昨年十一月九日～二日に開催された「ビル・マンション総合展2002」(東京ビッグサイト・入場者約10万人)に出展した。銅は貴重というイメージを払拭して、日常生活に密着していることをアピールする。このコンセプトで設計されたブースは、真白な住空間をつくり上げ、そこにリビング・キッチン・IT製品・トイレ用品・楽器など三十一個もの銅製品を展示。また、銅の代表的な性質である熱伝導性、加工性、耐久性、リサイクル性をアピール。最終製品を展示して、銅が採用される理由を付しPRした。とくに水まわり関係のO-157やレジオネラ菌に対する銅の抗菌効果のコーナーでは、多くの来訪者から感嘆の声が上がっていた。

一般市民対象に講演 伸銅品の特性などをアピール



当センターでは、去る一月十五日、埼玉県の朝霞市博物館で、「一般市民を対象に「くらしの中の銅ー伸銅品を中心に」と題する講演(講師当センター斉藤久嘉広報部長)を行った。受講者約三〇人を前に、過去に制作したビデオや伸銅品を使った商品などを紹介し、銅の抗菌特性や伸銅品が日常生活に密着していることをアピール。緑青についても人体に無害であること、を強調した。講演終了後、参加者からの質問につひとつ答え、「楽しくわかりやすい説明で、緑青が無害であることがわかった」との声が上がり、「銅」の理解を深める機会になった。

大好評「銅管ヘッダー」「工法」モニター募集 六月末まで期間を延長

当センターでは、画期的な配管工法ー銅管ヘッダー工法のモニター募集を行い、すでに日本各地に続々とモニター施工現場が誕生しているが、大好評につき、三月末までの募集期間を六月末まで延長することになった。モニターは銅管による給水・給湯用配管施工を行う水道工事店の中から選考され、被覆銅管(〇A)および機械式継手、ヘッダーが二戸分プレゼントされる。奮っての応募を。(問い合わせ先:日本銅センター技術部へ)



全体の四割が認識「緑青は無害」 当センターアンケート調査結果

「緑青」に関するアンケート集計結果(全271件)

| 年齢 | 10~20代 | | 30~40代 | | 50代以上 | | 総合計 |
|--------|------------|-------------|--------------|------------|--------------|------------|---------------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | |
| 有害だと思う | 3 1.10% | 10 3.69% | 39 14.39% | 7 2.58% | 36 13.28% | 1 0.36% | 96 35.42% |
| 無害だと思う | 4 1.47% | 2 0.73% | 40 14.76% | 9 3.32% | 53 19.55% | 4 1.47% | 112 41.32% |
| 分らない | 5 1.84% | 5 1.84% | 16 5.90% | 8 2.95% | 25 9.22% | 4 1.47% | 63 23.24% |

当センターが昨年十一月「ビル・マンション展」で、一般ユーザーを対象に銅に対する認識調査を行ったところ、「緑青は無害と思う」と回答した人は二七一人(中百十二人(四二%)、逆に「有害と思う」は同九六人(三五%)であった。「わからない」は同六三人(二四%)。また、銅に抗菌特性があることを「知っている」と回答した人は、同八一人(六七%)と過半数を占め、反対に「知らない」は、同九〇人(三三%)。さらに、病原性大腸菌O-157に対し、「銅が効果を発揮する」ことを「知っている」と回答した人は同八八人(三三%)、「知らない」と回答した人は、同八三人(六八%)となった。他方、展示ブースで関心を持った銅製品については、台所用品がトップとなり、次いで銅配管、千羽づる・花いきいき・トランペット・電子部品の順となった。